

大山崎町上下水道審議会答申及び経営戦略について

～安心・安全な上下水道を維持するための「現在」と「将来」について～



今、水道・下水道で起きている3つのピンチ



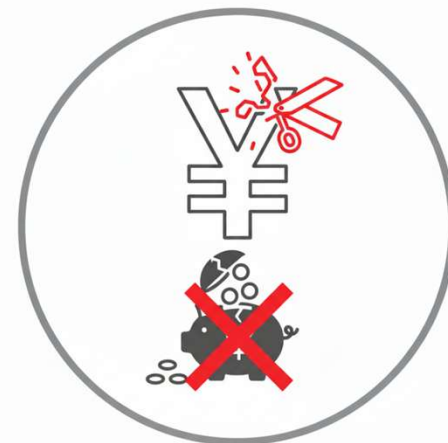
① 使う人が減っている

人口減少や節水型トイレ・洗濯機の普及により、過去20年間で水を使う量が激減（上水道は約12%減、下水道は約28%減）。それに伴い、料金収入も減り続けています。



② 設備が古くなっている

水道管や浄水場は作ってから40～50年が経過。地震への備えや、古い管の交換時期が次々と迫っており、これから莫大な工事費用が必要になります。



③ お金が足りない

収入が減る一方で、資材費や工事費は高騰。日々の運営費すらまかなえず、貯金を切り崩したり、本来別の目的に使うはずの「税金」で穴埋めをしている深刻な赤字状態です。

未来を見据えた「経営戦略」と「審議会」の役割

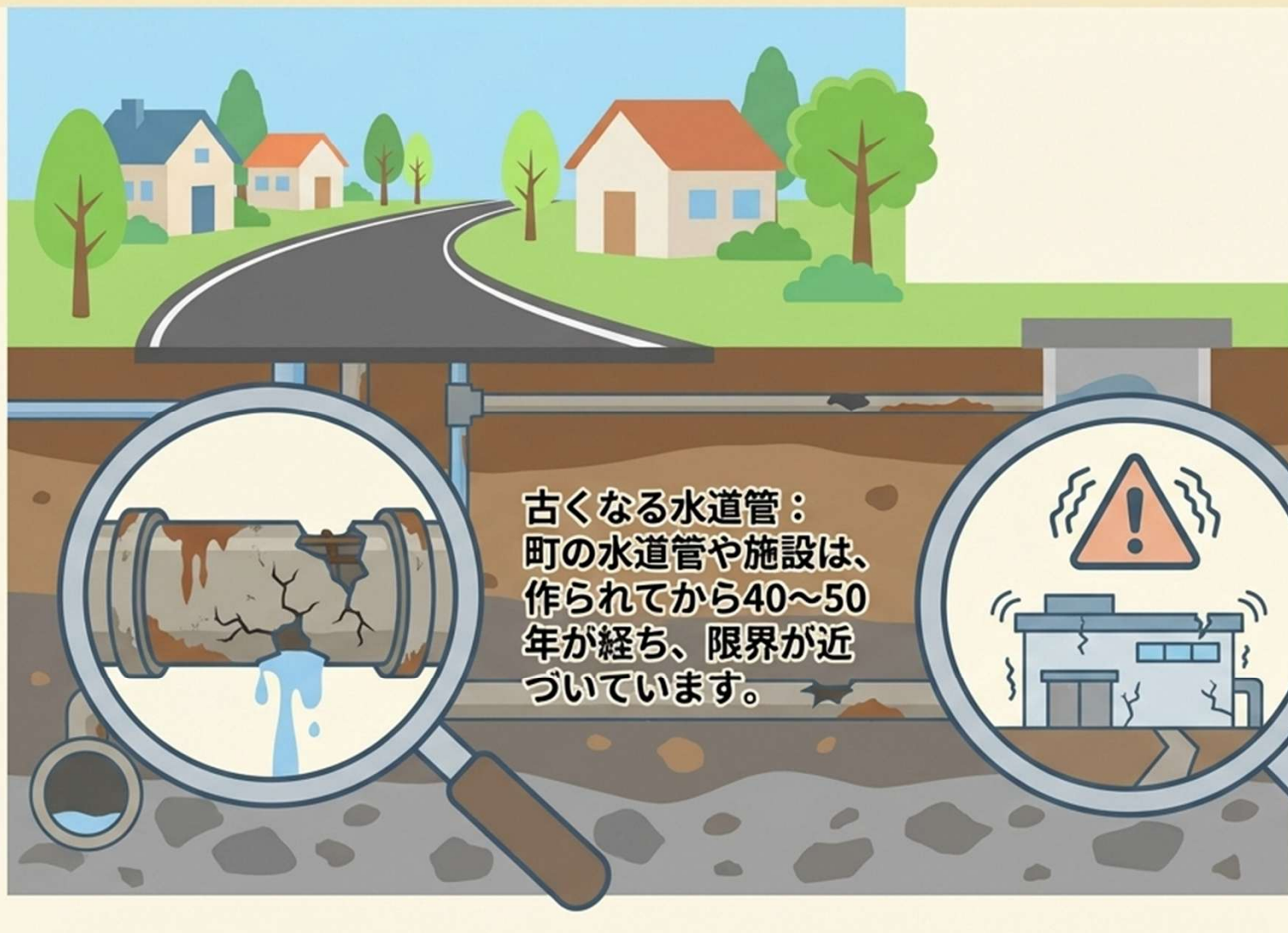
専門家や町民の代表で構成される「上下水道事業審議会」が全8回にわたり、町のデータと真剣に向き合いました。



各委員の専門的・多角的な知見に基づき、慎重に審議していただき、この度、答申を受けました。
答申を受け、次の10年間の経営戦略を策定し、公表をするものです。



上水道の課題：見えない地下での「老朽化」と「地震への備え」

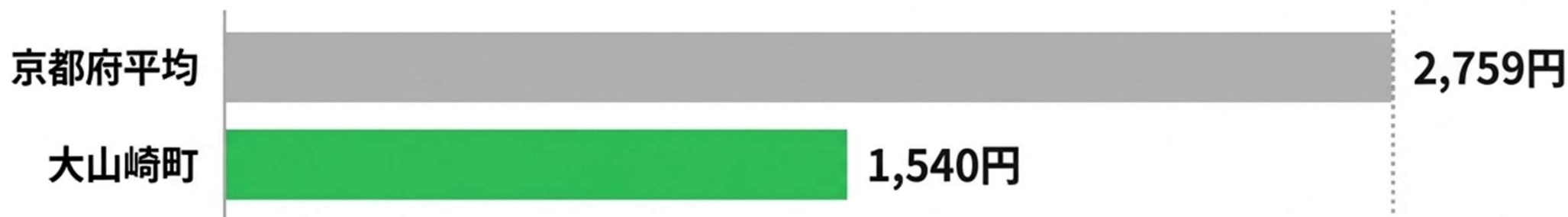


古くなる水道管：
町の水道管や施設は、
作られてから40～50
年が経ち、限界が近
づいています。

地震への不安：
浄水場（水を作る施設）
は古く、現在の耐震性
は「0%」。万が一の
大地震に備える工事が
急務です。

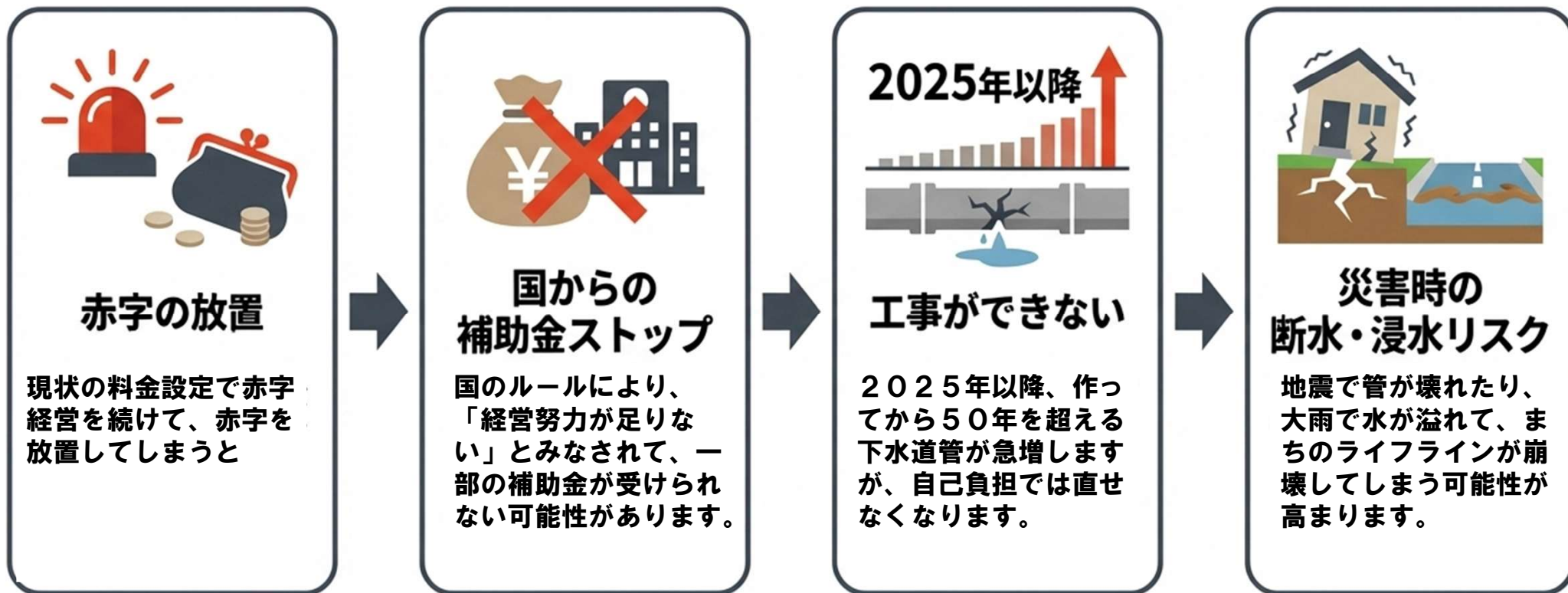
下水道の課題：税金で「大赤字を穴埋め」している問題

大山崎町の下水道使用料は「京都府で一番安い」（1ヶ月20m³あたり 1,540円）。



汚れた水をきれいにする費用は「使った人が負担する」のが原則です。しかし今は料金収入だけでは全く足りず、本来なら福祉や教育に使うべき「皆さまの税金」から多額の穴埋めをして、なんとか維持している状態です。

このまま何もしないと、どうなるの？



未来の子供たちに、壊れた水道・下水管と、多額の借金を残すことになってしまいます。

上下水道審議会からの答申内容(改定について)

全8回にわたる大山崎町上下水道審議会では、上下水道料金にかかる答申として下記のような、内容で提言いただきました。



【下水道】待ったなしの緊急課題

[時期]: 喫緊の改定(50%)

汚水処理に係る費用を賄うための下水道使用料が京都府下で最も安価であり、水道事業以上に自己財源で汚水処理費用を賄っていない状況が明確である。国庫補助金の獲得にあたって、一定の料金回収率が要件となる場合があることを考慮すると、下水道使用料改定の必要性は明らかである。



【上水道】段階的な見直し

[時期]: 早急な見直し(26%)

老朽化対策等の財源を確保し、安定した事業を継続するためには、早急に実施すべき課題であると考えます。料金改定の際には、口径別料金体系の導入や基本水量の見直し、資産維持費の導入といった、料金体系のあるべき姿の実現を目指し、継続的に検討を進められることを提言します。

上下水道事業のコスト削減努力について

皆様に負担をお願いするだけでなく、行政側も徹底的な効率化とコスト削減を行います。



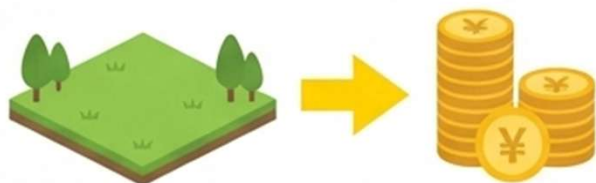
① 施設の最適化

過剰に持ちすぎている設備（浄水場など）のあり方を根本から見直し、無駄な維持管理費を大胆にカットします。



② 民間の力の活用

施設を民間に売るのではなく、町の管理のもとで「民間企業の優れたノウハウ」を活用し、効率よく点検・維持管理を行います。



③ 遊休地の売却・活用

使わなくなった旧浄水場などの土地を売却したり貸し出したりすることで、水道料金だけに頼らない新しい収入源を作ります。

上下水道の未来を考える「検討会」をスタートします

～10年後、20年後の子どもたちに負担を先送りしないために～

町では、策定済みの「上下水道経営戦略」に基づき、将来にわたって安心・安全な水をお届けするための具体的な運営方法を話し合う検討会を、令和8年度に実施します。

■「今すぐの値上げ」ではありません

今回の検討会は、すぐに料金を上げるためのものではありません。まずは、「コスト削減」を具体化に向け検討します。

運営の効率化 : デジタル化や近隣自治体との広域連携の検討

費用の抑制 : 計画的な修繕による、将来の更新費用の削減

優先順位の整理 : 災害に強いインフラ整備の着実な推進

■プロセスはすべて公開します

上下水道は皆様の生活に直結する大切なインフラです。検討のプロセスはすべて公開し、住民の皆様のご意見を伺いながら、令和8年度を通じて丁寧に議論を重ねてまいります。

□公開資料

上下水道事業審議会答申書 : <https://www.town.oyamazaki.kyoto.jp/material/files/group/60/jougesuidousingikaitousinsyo.pdf>

水道事業経営戦略 : https://drive.google.com/file/d/1FnZDEAZRpTxAIkN2qu_5I576FDxAi8jQ/view?usp=sharing

下水道事業経営戦略 : <https://drive.google.com/file/d/15y5x1VVM4zoJ8vdzi8yeMqJ83FJ0oolu/view?usp=sharing>

次の50年も、当たり前前に水が出る日常を。

上下水道事業審議会答申書

水道事業経営戦略

下水道事業経営戦略



大山崎町の安全・安心なライフラインを、次の世代の子供たちへしっかりと引き継ぐため。
皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

